

＜みやき町ケアニン上映実行委員会 様＞

上映日：2018/04/15(日) 場所：みやき町コミュニティーセンターこすもす館(佐賀県三養基郡みやき町)



受付の様子

地域を支える介護施設のみなさんが繋がるきっかけになればと、上映会を開催しました。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

県内でケアニンの上映会を実際に観て、介護の原点となる映画だと思い、その原点を支えるものが家族であり施設職員であり地域であると再認識できました。その原点となる映画を家族で観てもらいたい、改めて介護職の皆さんに観てもらいたい、そして地域を支える介護施設の同志の繋がりをもちたいと思い、上映会を開催させて頂きました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

介護事業所、訪問看護、訪問マッサージ、地域包括センターの職員です。

●協力の得られた団体はありましたか？

文書を作成し協賛金を募りました。ポスターやチラシを貼ってもらえる協力店もありました。また、みやき町・みやき町教育委員会に後援をいただきました。

●資金はどのように捻出しましたか？

協賛金から捻出しました。用途は上映代や印刷代、会場代です。

●地域へどのように告知をしましたか？

手配り、電話やメール、Facebookやブログです。告知のスピードや拡散具合はFacebookが1番でしたが、足を使って伝えて周ったのが最も効果的でした。当日は300名以上の方にお越しいただきました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

70代女性の方の来場が多く、介護を自分事として考えるという意見がかなり多かったです。改めて介護へ目を向けようとする言葉や人への感謝を再確認するような言葉を頂き、この映画がきっかけとなり働く側のモチベーションアップ、そして働いてみたい、自分も上映してみたいとの声を頂いています。

私や妻は、親にいつまでも長生きして欲しいという気持ちが深まり、これからの時間を大切にしようと思えました。

数多くの町民の皆様にご覧いただき、準備については集客をするために伝える作業が大変でしたが、伝えた分、当日の人数に繋がったと思います、その伝わった瞬間がすごくわかりました。上映を開催して、心から良かったと思っております。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

親を敬う気持ちが芽生える映画だと思うので、青年～中年層にもっともっと見てもらいたいです。

ご担当者：
中島 直哉さん、山本 龍晴さん